



第18号

発行者 **瑞浪芸術館**
 岐阜県瑞浪市稲津町萩原1220-2
 〒509-6102 電話0572-66-2170
 ホームページアドレス
<http://www4.ocn.ne.jp/~kayabuki/>

「宮城まり子と

ねむの木学園」展

に寄せて

四度目、二年振りの展覧会になります。す。

毎回まり子先生と子ども達の絵・ガラス・コースに感動し涙します。「芸術館を白い世界に動して子ども作品をちりばめたいのーだから柱も白で囲って、床は相応しいじゅう毯を持って出かけます。待つててネ。」とまり子先生。きつと素晴らしい会場になることでしょう。

NPO 瑞浪芸術館

理事長 近藤 精宏

初めて訪れたのは、ちょうど今頃、夏の盛りでしたか。

あれからもう9年が過ぎています。瑞浪市から3時間弱、ようやく着いた村は、きれいなうす紫と緑。白とオレンジ色の屋根でまごめられた建物たちでした。



修業式のテーブル(さいとう みさこ)

今思い浮かべれば、本当に素敵な色。みんなで創った色。楽しい色。そこを訪れる人々をやさしく迎えてくれる色。ほら、あそこ、ここにも、嬉しくなってしまう。

「えっ、そこまでするの?」朝5時までかかってみんなで描きあげた塔の絵。だからこそ伝わってくる思い入れ。

「色が一番その人を表す、表現手段だよ。」と、どなたかおっしゃってました。本当だと思えます。たとえば赤色、人それぞれに明るさ、濃淡、好みがあります。決して

同じではないはず。すべて同じでは、ある意味、不気味な事のような。

当時はまだ、ガラス張りの美術館に子どもさんの作品があり、自然の中で展示されていたと思います。その素直な思いで描かれた作品たちが茅葺の小さな建物の中で、どんな感じに成るのか期待をふくらませた記憶があります。

今回の展覧会、やはりワクワクしますね。子どもさんたちが、時間とまた体調を整えながら表現した作品。一筆一筆に思いがあり、やさしさがあふる物ばかりです。本当に大切な気持ちを込めた色彩に会いにきてください。

もう少しして、心地よい風が吹く頃にお会いできますよ。

(加藤 利幸)

9月16日(金)~10月23日(日)
 入館料

大人 800円
 小学生以下 無料

期間中、子どもたちによるコースを何回か予定しております。

「国際陶磁器フェスティバル美濃'11」

協賛事業
 ボランティア(受付等)募集中

※瑞浪芸術館では「宮城まり子とねむの木学園」展を支援して頂くため協賛金を募集しております。一般協賛金は1000円です。皆様のご協賛をお待ちしております。

社会福祉法人

千寿会

瑞浪市山田町1018番地の1(千寿の里山田)
 電話(0572)68-1248

瑞浪市西小田町3丁目221番地(千寿の里西小田)
 電話(0572)66-1030



直那川上尾

農をおこし、芸術・文化をはぐくもう。

本社 恵那市大井町恵那峡口 TEL (0573) 25-2470

(シリーズ 拓くひと17)

「次の世代につなげたい」

集まろう会 大湫太鼓

棚橋 和代さん

中山道、大湫宿。歴史ある町並みに子どもたちの打つ太鼓の音が響く。今年も大湫病院の納涼祭では、2歳から60代までの25名が力感にあふれた演奏を披露した。

曲目「白蛇の泉」は地元で伝わる民話を元に、旧大湫小学校の先生と生徒が一緒になって作り上げたもの。この楽曲を伝えていきたいという一念で大湫太鼓を始めた。それがいつしか「町の中に多世代の集まる場をつくりたい」という思いに変わり、自然と年代も広がった。

以前、生徒が自主的に立ち上げた学習会をみて気づかされた。

「やってみたい」とまかせてみたら子どもたちはやる。信頼することが大切。地域の中では、あこがれのお兄さん、お姉さんから学ぶこと



が一番。家庭では、おばあちゃん、お母さん、子ども。この順番を飛ばさなないことが肝心。文化はぶつ切りではなく、つながつているから」

釜戸小学校での講演がきっかけとなった、邦楽集団「志多ら」との交流は今も続く。

今年から、背中裏や竹ぼうき作りなど里山の暮らしの継承を目的とした「山びこどん」も加わり、活動の場はさらに広がる。(橋本 恭太)

街を楽しく

市民参加型映画「ふるさとがえり」

市町村合併により誕生した岐阜県恵那市。合併後市内各地では、あらゆるまちづくり活動が進められて来ましたが、実際には地域間交流も少なく本来の合併は進んでいませんでした。その状況の中、1人の市民が映画制作によるまちづくりと出会いました。実は、旧恵那市では1957年に映画「青い山脈」(出演・雪村いづみ、司葉子)のロケが行われ、市民が大いに盛り上がりつつ経緯があります。その様な地域だからこそ「市民総参加」による映画制作が始まり、そして「えな」心の合併「プロジェクト」が誕生したのです。「映画で心をひとつに」を合言葉に、各種イベントでのPRや監督を呼んでの「映画塾」等の活動を通じて、地域や世代間を越えた「つながり」が生まれました。脚本は、

市民が地域の課題について対話を重ね、それを基に脚本家を作りました。そして昨年夏待望のクラシックイン。撮影は約1ヶ月にわたり市内で行われ、2011年春ついに映画「ふるさとがえり」が完成。鑑賞後、劇中の台詞「あなたにとつてふるさととは、なんですか?」と言う問いについて、一人ひとり考えさせられる作品となっております。



大好評につき恵那市では8月には夏休み特別上映会、中津川市では10月2日に開催される「シネマジャンポリ」にて上映されます。

(柘植 清成)

明智かえでホール 8月6日、13日、14日
恵那文化センター 8月7日、26日
岩村コミュニティセンター 8月20日
山岡コミュニティセンター 8月21日
(上映時間・昼の部 14時〜16時15分
夜の部 19時〜21時15分)

お問合せ先

NPO法人えなここ
〒509-1720-0
岐阜県恵那市大井町2087-179
TEL.FAX...0573-1221-9211

水野歯科医院

水野 富夫

岐阜県瑞浪市釜戸町3082番地の2

電話(0572)63-2028

てまひまかける こころよさ
ここの味

釜戸温泉 料理旅館

水月館

岐阜県瑞浪市釜戸町3160 TEL(0572)63-2018

「東北大震災へ」

近藤 恵三子

被災地である宮城県石巻市と南三陸町へ芸術館のスタッフ安藤るり子、三浦亜希子、栢植真理恵と有志一名の計五人でボランティアに出かけてきました。途中、石巻市雄勝町・雄勝森林公園の避難所に物資を届け、被災者の生の声を聞く事が出来ました。大きな津波や激しい揺れの地震を経験した事のない私たちには想像を絶する話ばかり……3月11日の大きな地震と共に街を襲った黒く大きな津波はものすごい勢いさりと音をたてて街を襲い、その恐ろしさは経験した人間にしか分からないものかも



会場前でボランティア打ち合わせ

しれません。テレビで見えていた映像が目の前に大きく広がる光景として目の当たりにし、あたり前の平和だった生活が一瞬のうちに失われる恐ろしさを身にしみて感じます。石巻市から海岸沿いを車で約2時間、ただただ啞然とする光景の中、デコボコ道を車で南三陸町へ移動、南三陸町では震災後、自衛隊が川などで拾い集めた写真を展示する（塩水などでぐちゃぐちゃになった写真は専門液などで綺麗に洗われています）「思い出写真展」の展示案内ボランティアをしてきました。（位牌などもありました）会場は、今ももう使われていない木造校舎の旧入谷中学校。写真を見に来る方は被災者やその家族。沢山の写真の中



写真展風景

から自分達の写真を見つけた事とはとても難儀な作業。それでも家を持っていない方が大切な宝物を持って姿に、そして持ち主の現れないかもしれない色々な人生を想像させる写真の山に、ただただ心が苦しくなります……一日に500人近くの方が集まり、持ち主が見つかるのは3割弱、写真を見つけた事が出来た方々の笑顔に、私たちボランティアの心も和みます。滞在中、私たちが出来た事はほんの微力です。それでも微力が集まり大きな力に繋がるはずだと信じます。

色々な菌がゆいニュースが多く飛び交う中、私は心から祈ります。一日でも早く、被災された皆さまが安心して過ごせる日が来る事を……

みずなみ 岩垣産婦人科

岐阜県瑞浪市樽上町2-2-2
〒509-6123 TEL (0572) 67-1747(代)
FAX (0572) 68-9102番

ささき歯科

〒509-6101 岐阜県瑞浪市土岐町52の2
TEL.0572-68-3776

酒器まわり展

三浦 亜希子

人気作家による酒器（盃・徳利・ビアカップ・片口など）や酒器まわり品（向付け・皿・鉢など）の作品を展示です。

出展作家は近藤精宏（粉引）・和仁栄幸（備前）・野田芳直（色絵・島るり子（粉引）・ピーターアイビー（ガラス）・中神牧子（ガラス）・堀一郎（志野）・釈永陽（越中瀬戸）・近藤裕久（黒鉄釉）・三浦亜希子（鉄絵）
使うほどに潤いと渋みの増す酒器の数々を展示いたします。涼風漂う展示にしたいと思えます。是非、ご来館ください。

平成23年8月13日（土）～21日（日）
14日16時より懇親会あります。
入館料無料



横井照子ひなげし美術館

9月11日（日）午後6時から仲秋の名月を五感で楽しむ「お月見の会」を開催します。語り部をお招きして恵那に伝わる民話や伝説を聞く集いです。参加ご希望の方は美術館までお問い合わせください。



「Chrysanthemenduft II」1969年 油彩 116cm×81.1cm

10月1日からは横井照子油彩展「憧憬ーあこがれー」を開催します。今回の展示では、1950年代から70年代にかけての横井照子氏の油彩作品を紹介します。東京からサンフランシスコ、ニューヨーク、パリを経てスイス・ベルンと制作の拠点を移すなかでの表現方法の変遷を見ることができる作品を紹介いたします。皆様のお越しをお待ちしております。

開館時間 10時～17時
休館日 月曜日

（祝日の場合は翌日休館）

入館料 大人 400円
小・中・高校生 300円

お問合せ 05731201181

編集雑誌

理事長 近藤 精宏

かやぶき通信を永らく発行する事が出来ませんでした。経済環境の悪化は細々とした我々の足元にも及びスポンサーが揃わなかったのが一因です。「文化の力が明日の経済」と云われる時代なのに、誠に残念至極です。そんな中でも何とか第一八号の発行にこぎつきました。応援に感謝する次第です。

芸術館の活動も11年目に入りました。良く続いたものです。この度新理事は運営委員（スタッフ）の中から推挙し若返りました。今後は理事を中心に全員の力で運営を進めたいと思っております。

2011年 企画展のお知らせ

8月13日（土）～21日（日）

酒器まわり展

9月16日（金）～10月23日（日）

宮城まり子とねむの木学園展

11月5日（土）～13日（日）

「日本画、陶芸、彫金」

近藤恵三子・釈永陽・三沢もなみ三人展

11月下旬

講演「国井雅比古

（元NHKアナウンサー）

11月26日（土）～12月4日（日）

瑞浪芸術館支援 チャリティー展

お問合せ ご連絡先

NPO瑞浪芸術館

岐阜県瑞浪市稲津町萩原一三〇一

電話番号 057216612170

発行 2011年8月5日

可児市帷子インター近く

西可児メディカルセンター

- 1F 山田内科（胃大腸内視鏡）
- 2F 森岡耳鼻科
鵜飼歯科・矯正歯科
- 3F 河内皮膚科・形成外科
西可児接骨院

可児市菅刈乗定839-5

☎ (057) 465-1150

《事業内容（取扱品目）》

石油製品及びLPガス（車両用・工業用・家庭用）
セメント・業務用化学薬品類・園芸肥料
車検・自動車部品・レンタカー事業・消火設備
配管工事・厨房機器・冷暖房空調機器・家電製品
太陽光発電システム・オール電化システム
簡易ガス事業・リフォーム事業・飲料水宅配事業

東濃石油株式会社

TOSEKI

本社 〒509-6121 岐阜県瑞浪市寺河戸町1219-24

TEL (0572) 67-2511(代)

FAX (0572) 68-6895